

## 令和3年度 教育指導の重点及び学校経営計画（高等学校版マニフェスト）

学校番号	学 校 名
11	岐阜県立各務原高等学校

学校教育目標	開拓者精神（創造・挑戦・協同）の校訓のもと、高い知性、豊かな情操、健康な心身と、たくましく生きる力を持った人間を育てます。 1 知育・徳育・体育の調和のとれた生徒を育てます。 2 基礎的、基本的な知識と技能を身につけ、向上心があり、知性を備えた生徒を育てます。 3 個性豊かで、自己を律するとともに、自他をかけがえのない存在として認識し、協調性のある生徒を育てます。 4 心身ともに健康な体の基礎をつくり、生涯健康で健やかな生活が送れるようにします。	
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 学力の向上 【学習に対する意欲を喚起し、自ら学ぶ態度を育てます。】	① 生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得を図り、主体的・対話的で深い学びを実現するための教科指導となるよう、授業改善・校内研修を組織的・計画的に推進します。 ② 普通科単独校として、更なる活性化を図ります。 ・全学年で特進クラスを編制するなど、個々の力に対応した授業を展開し、進路実現を図ります。 ・科学への探究心と論理的思考力を育成するとともに、社会感覚やコミュニケーション能力を向上させます。 ・読む力、書く力、聞く力、話す力を統合的に高める英語教育を行い、実践的なコミュニケーション能力を向上させます。 ③ 予習－授業－復習の学習習慣の確立を徹底し、家庭学習の定着を図ります。 ④ 学習活動にICTを積極的に利用するとともに、各種検定を活用した学力向上を図ります。 ⑤ 「ふるさと教育」に積極的に取り組みます。地域資源を活用し、地域との交流を深め、地域課題を発見・解決する学習を推進します。	① 各教科において、授業の工夫・改善が進んでいるか確認します。 ② 次の3つを中心に評価します。 ・7月に「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」を実施します。 ・前期末考査、後期中間考査で生徒による授業評価を行います。 ・11月初旬に「ふるさと教育週間」を実施し、出席者に対し「アンケート」を行います。 ③ 学習時間調査を実施し「家庭学習時間2時間以上」の回答生徒数を増加させます。 ④ 生徒に1人1台配付されたタブレットを授業や家庭学習に活用します。 ⑤ インターンシップ等を積極的に生徒に推奨します。2年生全員に、地域課題解決を検討・提案する小論文を書かせます。
2 人間性の向上 【秩序ある教育環境をつくり、他者の考えを尊重しつつ、自ら考え、行動する自律の精神を養います。】	① あらゆる機会を通して、自他の生命・人格を尊重し、危険を未然に防ぐ能力を育てます。 ② 新生祭等の学校行事を生徒主体で運営し、自主性・自立性・協調性を養います。 ③ 全職員で「挨拶、身だしなみ・遅刻防止指導、清掃」に取り組み、生徒の規範意識を向上させます。 ④ 落ちついた雰囲気の中で学習ができるよう、学習環境を整備します。 ⑤ 令和4年4月より成年年齢が18歳に引き下げられることを踏まえ、すべての教育活動における主権者教育を推進します。	① 教育相談週間をはじめ、生徒との懇談を随時実施します。迷惑調査・いじめ調査を年5回行います。 ② 学校行事ごとにアンケートを実施します。 ③ 教科担任が授業開始時に身だしなみ確認をします。遅刻ゼロの生徒者数の10%増加を目指します。 ④ 厚生委員（会）による掃除点検を行います。 ⑤ 地歴公民や家庭科を中心とした授業や講演会を通して主権者教育を行います。
3 体力の向上 【心身の調和的発達を図る基礎作りを充実させます。】	① 心身ともに健康な体作りのためのたくましさ、自己管理能力の育成を図ります。 ② 全国レベルの結果を目指す部や生涯スポーツ的な要素の育成を目指す部など、生徒のニーズに応じた新たな部活動を実践し、活性化を図ります。	① 新体力診断テストの結果を向上させます。欠席者数前年度比10%減少を目指します。 ② 部活動加入率80%を目指します。県大会での成績向上を目指します。
4 働き方改革の推進	① 長時間勤務と多忙化の解消に向け、業務内容の不断の見直しを行います。 ② ハラスメントとメンタル不調を速やかに察知し、解決を図ります。	① 出退勤時間を確実に記録します。ICT機器等を活用し、個人の業務を減らします。 ② 関係者一人で抱え込まず、管理職や各種相談窓口にご相談し早期解決につなげます。